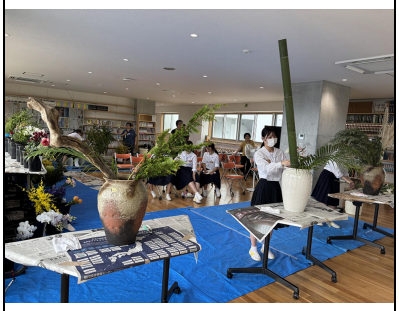
普及活動情勢報告（令和７年 10 月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

## 高校生花生けバトル体験会　　～高知県立清水高等学校～



９月 11 日、高知県立清水高等学校で、花生けバトル体験会が開催され、生徒８名、教師２名が５分間のアレンジメントに挑戦しました。

農業改良普及課は、体験会の準備や講習補助などを行いました。

参加者は、最初どう生けて良いか分からない様子でしたが、講師からの助言により、最終的には立派な作品に仕上がり、生け花への関心が高まったようでした。

農業改良普及課は、今後も花のある生活の普及に向け、支援を継続していきます。

## 食育事業を通して農業を知ろう　～宿毛地区農村青少年クラブジャガイモ定植～

９月 18 日、宿毛市二ノ宮のほ場で、二ノ宮保育園児 16 名と宿毛４Ｈクラブ員６名、関係機関４名がジャガイモの植え付けを行いました。

農業改良普及課は、関係機関との日程調整や当日の作業準備を行いました。

園児たちは、宿毛４Ｈクラブ会長から種イモの植え付け方法の説明を受けた後、クラブ員の手助けを受けながら、手で穴を掘り、植え付けを楽しんでいました。

農業改良普及課は、今後も宿毛４Ｈクラブの活動をとおし、12 月に予定している収穫に向けて支援を行っていきます。

## 今年のお米の出来は？！　　～四万十市立具同小学校の稲刈り体験～

10 月６日、四万十市入田のほ場で、具同小学校の５年生 59 名が、授業の一環として６月に田植えをした水稲（ヒノヒカリ）の稲刈りを行いました。

秋晴れの中、栽培管理を行ってきた集落営農法人「（農）入田村」がコンバインで稲刈りの実演を行った後、農業改良普及課が、稲の手刈りの方法を説明しました。

児童らは、慣れない鎌での刈り取りで、苦戦しながらも稲を一株ずつ丁寧に刈り取り、「鎌で稲を刈るのは大変だったけど楽しかった」と話していました。

農業改良普及課は、今後も小学校の授業を通して、食農教育を支援していきます。

## 農業研修開始をサポートします！　～四万十市就農希望者面談～

10 月 6 日、四万十市役所会議室で、新規就農者支援チーム（農業改良普及課職員、四万十市職員、ＪＡ営農指導員）と県新規就農関係職員が、就農希望者１名と面談を実施しました。

農業改良普及課からは、研修の支援策について説明しました。また県担い手関係職員からは研修先となる農業担い手育成センターの講義内容、時期、施設等について説明し、支援チームで研修計画の内容を確認しました。

この面談で、就農希望者は 12 月からの研修開始に向けた準備が整いました。

支援チームは、今後も円滑な研修および就農に向けて支援していきます。

## 最後までしっかり取りきろう　～ＪＡ高知県西土佐出張所米ナス部会現地検討会～

10 月 7 日、四万十市西土佐地区の雨よけ栽培米ナスのほ場で、現地検討会が開催され、生産者６名、関係機関７名が参加しました。

農業改良普及課からは、生育調査および土壌分析結果を基に、今後の肥培管理の指導と試験で実施した遮熱資材の温度データの報告を行いました。

生産者からは、「今後は収穫の対象にならない、果実や花芽の整理を徹底していく」など、栽培終了時を見越した栽培管理について意見交換が行われていました。

農業改良普及課は、今後も関係機関とともに、米ナスの生産振興に取り組んでいきます。

## 令和８園芸年度の栽培開始　～黒潮町促成キュウリ個別巡回～

10 月 9、10 日、黒潮町で促成キュウリを栽培している新規就農者８名に対して、定植後の状況を確認するため、個別巡回を行いました。

農業改良普及課は、高い気温に合わせたかん水量の調整や黄化えそ病を媒介するミナミキイロアザミウマに対する初期防除が徹底されているかを確認しました。

生産者からは、「手かん水はいつまで行うべきか」「アザミウマに対する最初の農薬散布はいつ行うべきか」などの質問がありました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会や個別巡回で、データに基づく栽培管理の改善を支援していきます。

## 産地と果樹試験場との交流　　～すくも文旦育成会定例会～

10 月 10 日、宿毛市役所で、すくも文旦育成会定例会が開催され、生産者 16 名、関係機関 7 名が参加しました。

農業改良普及課からは、今後の病害虫防除について説明しました。会の中では、果樹試験場の研究員が「土佐文旦」に関する最新の試験研究（新品種やシールディングマルチ）について講演しました。

生産者からは、試験研究の発表内容について「土佐文旦の新品種を食べてみたい」「マルチの設置はいつからなのか」「宿毛では土壌水分率の調査をしているので、それとの関係も知りたい」等の活発な意見や質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関とともに、土佐文旦の産地を支援していきます。

## 初の挑戦！！ドローンで“野菜を守る”時代へ　～ブロッコリー防除実証試験～

10 月 13 日、土佐清水市宗呂にある集落営農法人「（農）ふぁー夢宗呂川」のブロッコリー栽培ほ場で、広域連携組織である「（一社）とさしみずファームス」のドローンを用いた防除実証試験を行いました。

農業改良普及課では、薬剤の選定に係る情報提供や害虫調査を行いました。

生産者は、普段、水稲ではドローンを使いこなしているが、野菜では初の試みということもあり、防除効果に注目している様子でした。

農業改良普及課は、今後も農業用ドローンをはじめとする省力化技術の普及・推進や広域連携の取組を支援していきます。